

製品名: PHOX2A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86388**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:30 kDa; Observed MW:36-38 kDa

抗原情報

遺伝子名	PHOX2A
別名	ARIX; FEOM2; NCAM2; PMX2A; CFEOM2
遺伝子 ID	401
SwissProt ID	O14813
免疫原	ヒト PHOX2A の合成ペプチド

背景

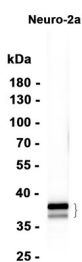
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエの *aristaless* 遺伝子産物に最も類似した *paired-like* ホメオドメイ

ンを含む。このタンパク質は、自律神経系の発達において中心的な役割を果たす。このタンパク質は、ノルアドレナリン作動性神経伝達物質の表現型の分化と維持に不可欠な2つのカテコールアミン合成酵素、チロシン水酸化酵素とドーパミンβ水酸化酵素の発現を制御する。また、このタンパク質は、α3ニコチン性アセチルコリン受容体遺伝子の転写を制御することも示されている。この遺伝子の変異は、常染色体劣性遺伝性の先天性外眼筋線維症と関連している。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



PHOX2A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して Neuro-2a 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。